

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	角上魚類ホールディングス株式会社	階数	地上2F
建設地	埼玉県鶴ヶ島市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域 防火指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,912時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2023年6月17日
敷地面積	5,931㎡	作成者	朝日設計 植
建築面積	3,533㎡	確認日	2023年6月17日
延床面積	6,119㎡	確認者	朝日設計 植



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 計画建物は低温冷蔵庫、ドライ倉庫、一部加工エリアの複合倉庫です。冷凍システム、断熱システム等の計画の際には環境への配慮を検討しました。		特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 従業員の方々が不快に思わず行動できる環境整備を行った。	<b>Q2 サービス性能</b> 作業にて発生する生ごみ等を一次保管する部屋を設け、温度管理する事で悪臭の発生と匂いの拡散を考慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 食品を取り扱う関係で高木等は植樹出来ないが、敷地に対して25%以上の緑化を行った。
<b>LR1 エネルギー</b> 本建物は冷凍、低温倉庫なので大型冷却器を効率よく運転し、外部からの熱侵入を極力抑える事でエネルギー効率の高い建物を目指した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 法的な規制をクリアする対応とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 法的な規制をクリアする対応とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 角上魚類ホールディングス株式会社 鶴ヶ島加工・配送センター新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>		-				<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	-	-				<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-				
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	<b>3.0</b>	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	<b>3.0</b>	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-				
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35	-	-				<b>2.2</b>
2.1 室温制御		<b>2.2</b>	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.38	<b>3.0</b>	-				
2 外皮性能		3.0	0.25	<b>3.0</b>	-				
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38	-	-				
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	<b>3.0</b>	-				
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.8</b>	0.25	-	-				<b>2.8</b>
3.1 昼光利用		<b>2.4</b>	0.30	-	-				
1 昼光率		2.0	0.60	<b>3.0</b>	-				
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	<b>3.0</b>	-				
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-				
1 昼光制御		3.0	1.00	<b>3.0</b>	-				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-				
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	-	-				<b>2.6</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	-	-				
1 化学汚染物質		3.0	1.00	<b>3.0</b>	-				
4.2 換気		<b>2.3</b>	0.30	-	-				
1 換気量		1.0	0.33	<b>3.0</b>	-				
2 自然換気性能		3.0	0.33	<b>3.0</b>	-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	<b>3.0</b>	-				
4.3 運用管理		<b>2.0</b>	0.20	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-				
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-				<b>2.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.8</b>	0.40	-	-				<b>1.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>1.0</b>	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		1.0	0.33	<b>3.0</b>	-				
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	<b>3.0</b>	-				
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-				
1.2 心理性・快適性		<b>1.6</b>	0.30	-	-				
1 広さ感・景観		1.0	0.33	<b>3.0</b>	-				
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-				
3 内装計画		1.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.6</b>	0.30	-	-				<b>2.6</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.8</b>	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		<b>1.4</b>	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-				
3 電気設備		1.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.6</b>	0.30	-	-	<b>2.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>1.8</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.4</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		低温倉庫なので効率的になるよう設備に配慮した。BPI <sub>m</sub> =0.73	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = -	<b>5.0</b>	0.50	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.2</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水			<b>1.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.4</b>	0.60	-	-	<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>1.9</b>	0.20	-	-	<b>1.9</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>1.5</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			1.0	0.50	-	-	
3 冷媒			2.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO <sub>2</sub> =52%	<b>4.9</b>	0.33	-	-	<b>4.9</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>1.9</b>	0.33	-	-	<b>1.9</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>1.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>1.8</b>	0.33	-	-	<b>1.8</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>2.3</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			1.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート





■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	角上魚類ホールディングス株式会社	BEE	0.7	BEEランク	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.9	+	1.6	=	6.5	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	4.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.9
太陽光パネルの設置を行った。 CO2排出率:LCCO2=52%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
敷地の25%以上の緑地を設けた。			

 : 入力欄